

令和6年度第2回奈良市特別職報酬等審議会会議録

開催日時	令和7年1月21日（火）午後1時から午後2時00分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟6階 第2研修室		
出席者	委員	青木委員、伊藤委員、西川委員、松山委員【計4人出席】	
	事務局	玉置総合政策部次長、細川人事課長、中井人事課長補佐、逸崎係長、松山、濱口、西村	
開催形態	公開（傍聴人なし）	担当課	総合政策部 人事課
議題 又は 案件	1 追加資料の説明 2 答申（案）の確認 3 答申書の交付		
決定又は 取り纏め 事項	1 給料月額については据え置きとするが、社会の動向を注視しつつ給料月額及び各種手当について継続的に検討していくことが適当である旨の答申書を提出された。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>1 給料月額の適正なあり方について</p> <p>事務局から下記追加資料について説明をし、特別職の給料月額が適正か審議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 伊藤委員から、給与体系を考えたときに、特別職の職務、職責に応じたものとなるように考えなければならないと意見があった。また、給料月額以外の各種手当の在り方についても今後検討する余地がある旨の意見があった。 ■ 西川委員から、民間企業においては、過去には社会情勢的に賃上げを行うことが難しかった実情に照らして、各種手当を新設して対応していることもあったが、現在の社会情勢はそのような傾向ではない。よって、手当も含めて総合的に給与体系を見直すべきと意見があった。 ■ 松山委員から、上記の伊藤委員、西川委員の意見に対して反対はないが、給与体系の仕組みについて、今すぐではなく、今後の検討課題として認識をする必要があると意見があった。 ■ 青木委員からは、他の委員からの意見と同様に特別職の給与体系について検討の必要があるという意見があった。 			
資料	追加資料1 財政力指数（中核市比較一覧） 追加資料2 常勤監査委員と一般職の最上位職位との給与比較		